

科目コード	記号	科目名	
8109	AG04	環境と社会: Environment and Society	
教員名		岩元 修一: IWAMOTO Syuichi	
学年	単位・時間	必修・選択	授業形態
1PDK	2・100分	必修	講義・後期
授業概要	<p>ここでは、環境とはさしあたり自然環境と考えておこう。一方、「社会」とは明治時代、societyから翻訳された言葉であり、日本における社会の本格的発見は大正時代のことであったという。本講義では、このような自然環境の見方を通して社会と環境の関わりを考え、次に具体的事件を通して人と人の関係からなる社会と自然環境の関わりを考え、最後に現在問題となっている地球環境問題について考えてみたい。</p>		
到達目標		評価方法	配分
自然の見方の推移を説明できる。		①レポートと②試験	①②各15%
具体的事件を通して社会と環境の関わりを説明できる。		③レポートと④試験	③④各20%
地球環境問題について説明できる。		⑤レポートと⑥試験	⑤⑥各15%
学習・教育目標	(F)③④	JABEE基準1(1)	(a)
後 期			
授 業 計 画	回	項 目	内 容
	第1	はじめに	シラバスと評価方法および授業概要、そして自然の見方について説明する。
	第2	自然(2)	辞書の「自然」と翻訳語の「自然」
	第3	自然(3)	文学・科学の「自然」
	第4	自然(4)	近世から近代の「自然」の用法
	第5	具体例(1)	水俣病とは何か
	第6	具体例(2)	水俣病の経過(1)
	第7	具体例(3)	水俣病の経過(2)
	第8	具体例(4)	水俣病の経過(3)
	第9	具体例(5)	水俣病の経過(4)
	第10	地球環境問題(1)	地球環境問題とは何か(1)
	第11	地球環境問題(2)	地球環境問題の課題(1)
	第12	地球環境問題(3)	地球環境問題の課題(2)
	第13	地球環境問題(4)	地球環境問題の課題(3)
	第14	地球環境問題(5)	地球環境問題の課題(4)
第15	まとめ	試験の講評と授業アンケートを行う。	
関連科目	本科社会科目		
教科書	資料を配布する。		
参考書	適宜、講義の中で紹介する。		
授業評価・理解度備考	最終回到授業評価アンケートを行う。		